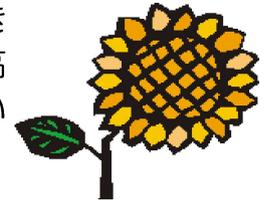




希望の花

鶴ヶ島市立西中学校
学校便り No.4
令和6年8月29日
文責 校長・真武公司

「連日のとんでもない暑さに見舞われた夏休みでした。」 この書き出しを毎年毎年繰り返し使っています。8月の平均気温は観測史上最高になるだろうと思っています。今後も10月までは高温の予報が出ています。いったいどれだけ地球の気温は上がっていくのでしょうか…。



長い地球の歴史では、今以上の温暖期があつとされています。しかし、温暖期の後には必ず寒冷期が訪れています。ただ、これまでと決定的に違うのは、今回の温暖化は「人間という生物が便利さを求めた文明のせい」であることです。そのため、寒冷期がくるのはかなり遅れるだろうと科学者は予測しています。46億歳の地球の年齢を考えると、人間の人生なんてほんの一瞬です。私たちが生きている間は、気温が上がり続けるのかも知れません…。

季節の移ろいが分かりにくくなっていますが、私は通勤途中の車から見える景色で季節を感じる事が意外と多くあります。夏の季節は、街路樹として植えてある百日紅（サルズベリ）の白や紫やピンクの花が見えるようになると夏休みだなと感じます。このあと、キンモクセイが開花して香りが漂ってくると「秋だなあ」と感じるのですが、最近は10月にならないとその気分には浸れません。そして急に冬になってしまいます。秋と春が好きなのですが…。

そして今、強い勢力の台風が迫ってきています。

「釜石の常識」 9月1日は防災の日

9月1日は防災の日です。101年前に起きた関東大震災は、相模湾を震源とするマグニチュード7.9の地震により10万人以上の死者・行方不明者を出した大災害です。今年は「南海トラフ地震臨時情報」が出され、ちょっと緊張が高まりました。買いだめによる米不足にも繋がっているようです。首都直下型地震もいつ起こってもおかしくないと言われています。

東日本大震災の際、釜石市の小・中学生の99.8%（地震のとき学校にいた児童・生徒は100%）が助かっています。このことは「釜石の奇跡」と呼ばれています。でも、釜石の小・中学生は「釜石の常識」だと言います。真剣な訓練を繰り返す中で、大きな揺れを感じたら「物が落ちてこない、倒れてこない、移動してこない場所で自分の身の安全を確保する」とことと「高台へ全力で避難する」ことが身に付いていて、当たり前のこととして行動に移せるからだそうです。



その釜石の防災教育を指導してきた片田敏孝氏（群馬大学大学院教授）の「小中学生の生存率99.8%は奇跡じゃない 『想定外』を生き抜く力」という話の一部を紹介します。

防災教育を行う前のアンケートで「家に1人でいるとき大きな地震が発生しました。あなたならどうしますか？」の質問に対しほとんどの回答は「親に電話する」「親が帰って来るまで家で待つ」というものだった。大人もいつの間にか、津波警報が発令されても「到来した津波は数十センチ」という繰り返しに慣れてしまい「本当に津波が来たときに指示された避難所に行けばよい」と思う人が多くなり、さらには「それでも、堤防があるから大丈夫」という油断が生まれていた。親の意識が変わらなければ、学校で子どもに教えても効果は半減する。「わが子のためなら」という親心に訴えてきたことが功を奏した。

結果として、地震が起きると壊れてしまった校内放送など聞かずとも、生徒たちは自主的に校庭を駆け抜け「津波が来るぞ」と叫びながら避難場所に移動した。しかも、避難場所の裏手は崖が崩れそうになっていたため、男子生徒がさらに高台へ移ることを提案した。その間、幼稚園から逃げてきた幼児たちと遭遇し、ある者は小学生の手を引き、ある者は幼児が乗るベビーカーを押して走った。間もなく、今までいた避難場所は波にさらわれた。間一髪で高台にたどり着いて事なきを得た。自らの判断で自らの命を守ったのだ。



どれだけハードを整備しても、その想定を超える災害は起きうる。最後に頼れるのは、一人ひとりが持つ社会対応力であり、それは教育によって高めることができる。

教育の大切さと力の大きさを改めて実感します。そして子どもたちの教育に携わる者として身が引き締まる思いがします。これを機にご家庭でも、「災害時、連絡が取り合えないときにはどこで落ち合うのか」等の最悪を想定した話し合いをもってください。

11月16日(土)の地域交流フェスティバルでは、中学生が「共助者」となるために、地域の方の防災訓練に参加できるよう準備を進めています。

お願い

◎子どもたちが2学期を順調に滑り出せるよう、ご協力をお願いいたします。

夏休み明けは、毎年、子どもの自殺が急増する時期です。学校では、子どもたちの様子を注意深く見守っていきます。ご家庭でも、気になることがありましたら、できるだけ早く学校へ相談をしてください。また、関係機関の相談窓口も多く開設しています。(7月号の学校だよりに掲載していますので、ご参照ください。)

SNS 教育相談
© 埼玉県教委

9月の主な行事予定

3日(火) 生徒朝会
4日(水) 集金日 専門委員会 中央委員会
6日(金) 選挙管理委員会
新町小・西中合同学校運営協議会
9日(月) 教育実習 (~9/27)
10日(火) 学校朝会 3年実力テスト
11日(水) あいさつ運動 看護学校臨地実習

12日(木) 英語スピーチコンテスト
13日(金) PTA本部会
18日(水) 生徒朝会(新人戦壮行会)
19日(木) 入間北部新人体育大会(~9/21)
24日(火) 月曜日課
25日(水) 陸上新人戦
26日(木) 専門委員会
27日(金) 3年英語検定
28日(土) テスト前諸活動停止期間開始

10月 3日(木)・4日(金) 中間テスト